

受入図書資料(278)

(*)印は寄贈図書

(-)印は移管図書

[会計・監査]

財務会計研究の回顧と展望

徳賀芳弘、大日方隆 編著 中央経済社(*)

図解でざっくり会計シリーズ①税効果会計のしくみ

図解でざっくり会計シリーズ②退職給付会計のしくみ

図解でざっくり会計シリーズ③金融商品会計のしくみ

図解でざっくり会計シリーズ④減損会計のしくみ

図解でざっくり会計シリーズ⑤連結会計のしくみ

図解でざっくり会計シリーズ⑥キャッシュ・フロー計算書のしくみ

図解でざっくり会計シリーズ⑦組織再編会計のしくみ

会計処理アドバンスQ&A

(以上8件、新日本有限責任監査法人編著 中央経済社(*))

不動産会計と経営行動

山本 卓 著 創成社(*)

学校法人会計要覧(平成25年版)

学校経理研究会 編 霞出版社

[税務]

公認会計士による税務判例の分析と実務対応Vol. 2

日本公認会計士協会 東京会 編 日本公認会計士協会出版局

[その他]

会社法決算書の読み方・作り方 第7版
新日本有限責任監査法人 編 中央経済社(*)

会社法決算書作成ハンドブック(2013年版)
太田達也 著 商事法務(*)

基礎からわかる工場経理の実務

新日本有限責任監査法人 編著 清文社(*)

六法全書 1・2(平成25年版)

西田典之、高橋広志、能見善久 編集代表 有斐閣(*)

利益率の持続性と平均回帰

大日方隆 著 中央経済社(*)

内部統制の法的責任に関する研究

鳥飼重和 監修 町田祥弘 編著 日本公認会計士協会出版局

学内機関誌から(278)

-論題紹介-

税効果会計における入口・出口規制

衣川修平 商学論集(福島大学) 80 巻第4号

報告利益の質と試験研究費及び開発費

岡田隆子 山口経済学雑誌(山口大学) 61 巻第2号

株主資本、売上高、純利益の Value Relevance(1)ー試験研究費及び開発費に注目してー

岡田隆子 山口経済学雑誌(山口大学) 61 巻第3号

資産負債観の説明能力ー製品保証引当金(5)ー

笠井昭次 三田商学研究(慶應義塾大学) 55 巻第4号

証券市場の機能と証券業務

二上季代司 彦根論叢(滋賀大学) 第394号

預金保険機構による特定回収困難債権の買取・回収について

鈴木康晴 彦根論叢(滋賀大学) 第394号

資産負債観の説明能力ー資産除去債務(1)ー

笠井昭次 三田商学研究(慶應義塾大学) 55 巻第5号

我が国監査法人の専門性の測定

藤原英資

監査法人の専門性と継続企業の前提に関する監査判断の関係

藤原英資

金融取引実務から考察する債務譲渡の実相と法人税法部分貸倒との牽連性

水野浩児

(以上3件、追手門経営論集(追手門学院大学 18 巻第2号)

継続企業の前提が疑わしい場合の監査人の対応ー無限定適正意見以外の意見を表明する可能性に注目してー

坂柳 明 商学討究(小樽商科大学) 63 巻第2・3 合併号

利益訂正の情報移転ー伝播効果 vs. 競争効果ー

奥村雅史

米国における会計政策研究の系譜

辻 正雄

現代会計のアポリアー対立する2つのパラダイムー

辻山栄子

財務諸表監査における懐疑主義の適用ー職業的懐疑心の初期設定とその後の改訂ー

鳥羽至英

「宿泊施設の統一会計報告様式」にもとづいた管理会計情報の利用可能性ー

長谷川恵一

ビジネスモデルと会計

広瀬義州

国際財務報告基準における自己創設無形資産に係る認識基準の変遷ー近時の議論からみる変容なき変化ー

山内 暁

包括利益と当期純利益の調整ーIFRS におけるリサイクリングの意味と意義ー

秋葉賢一

決算短信の情報有用性は過去 25 年間で低下していたか

薄井 彰

連結範囲の基準差異を辿る

小宮山賢

アーサー・アンダーセンの崩壊は何を教えているのか?

千代田邦夫

退職給付会計基準の改正に伴う数理計算上の差異の会計処理の変更が財務報告の透明性に与える影響の定性的評価

菅野浩勢

非営利組織におけるボランティアの会計

金子良太

経営と会計ー大塚会計学の射程ー

齋藤正章

金融商品の流動性リスクと財務報告

福島 隆

天然資源の公会計

川村義則

(以上16件、早稲田商学(早稲田大学 第434号)

監査法人による法令違反等事実に係る通知申出制度の法的意義

荻野昭一 経済学研究(北海道大学) 62 巻第2号

金融所得の損益通算制度導入に対する資本市場の評価と投資家行動の分析

櫻田 譲 経済学研究(北海道大学) 62 巻第2号

小規模および個人企業組織における会計活動の調査

K.M.ラハマン 企業研究(中央大学) 第22号

資産負債観の説明能力ー資産除去債務(2)ー

笠井昭次 三田商学研究(慶應義塾大学) 55 巻第6号

資金的損益貸借対照表論への一歩

今井敏博

一般社団法人における「基金」の会計的性質

岡村勝義

経営者財務会計行動論序説

孔 炳龍

19 世紀イギリスの企業会計実務にみられる時価評価の実務—公益事業会社と一般事業会社の場合—

佐々木重人

第三者委員会をめぐる会計上の課題と展望

八田進二

オペレーティング・リースのオンバランス化のアプローチと財務報告の質的特性—

林 健治

複合取引にみる収益・負債の認識と測定思考—販売に伴う保守サービス契約とポイント制度の会計処理を題材として—

渡辺竜介

顧客価値創造会計

紺野 剛

“収益費用観から資産負債観へ”の実質的意味

冨塚嘉一

取得原価会計の学說的展開

上野清貴

金融負債の公正価値測定に関する考察と課題—「マッチング」と「富の移転」を中心として—

中村英敏

英国税務会計史(1)

矢内一好

(以上 12 件、商学論纂(中央大学) 54 巻 第 6 号)

会計、その神話の崩壊(10)

田中茂次

税務会計研究の回避と展望(8)—私の学問研究の軌跡「国会活動回想記(その 2)」—

富岡幸雄

わが国財務会計制度の国際化の展開と展望

菊谷正人

IFRS(国際会計基準)の導入と日本の対応—会計文化の「ローカル性」と「中小企業の会計」の視点から—

河崎照行

「戦略なき日本」の会計とその研究課題

柴 健次

IFRS 導入による子会社の会計処理および決算手続の影響—2010 年度 IFRS に関するアンケート調査研究—

吉岡正道

会計グローバル化と原則主義的アプローチの胎動

椛田龍三

国際財務報告基準の課題と展望

橋本 尚

財務報告の国際化と会計主体論

村田英治

グローバルな会計規制を巡るガバナンス体制の構築

伊藤良二

会計のグローバル化と監査法人の取り組み

松浦康雄

「日本として会計グローバル化の課題にどう向かうか」

阿部泰久、浅野岳紀

グローバル経済の IFRS: 戦略と会計の統合モデル

林 昇一

会計グローバル化の課題と展望

岡部 滋

基準設定主体、企業、研究者の連繫課題

中村輝夫

日本における日本基準、米国基準、IFRS(指定国際会計基準)による連結財務諸表の経営分析

横山和夫

修正原価会計の萌芽と進展

上野清貴

事業構造改革費用を巡る経営者の財務会計行動

来栖正利

包括利益と純利益の有用性に関する理論的考察—一般意味論からのアプローチ—

孔 炳龍

負債性引当金の意義と認識—ISA 第 37 号改定公開草案を中心として—

西山徹二

包括利益計算におけるリサイクルの違い—日米における純利益計算に対する視点の違い—

小野正芳

法令規定と長銀事件判決に見る「公正なる会計慣行」

長島 弘

(以上 22 件、経理研究(中央大学) 第 56 号)

米国会計基準ののれんの処理が経営に及ぼす影響—事例分析—

大倉雄次郎 商学論集(関西大学) 57

巻第 4 号